

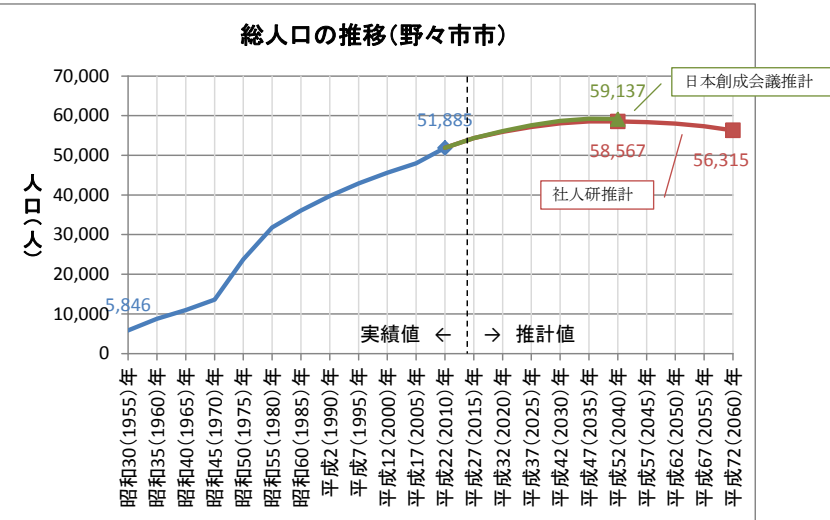
策定目的

野々市市の人口をめぐる諸問題を示し、市民とともに野々市市の将来を考えることで、真に活力ある地域を創造する。

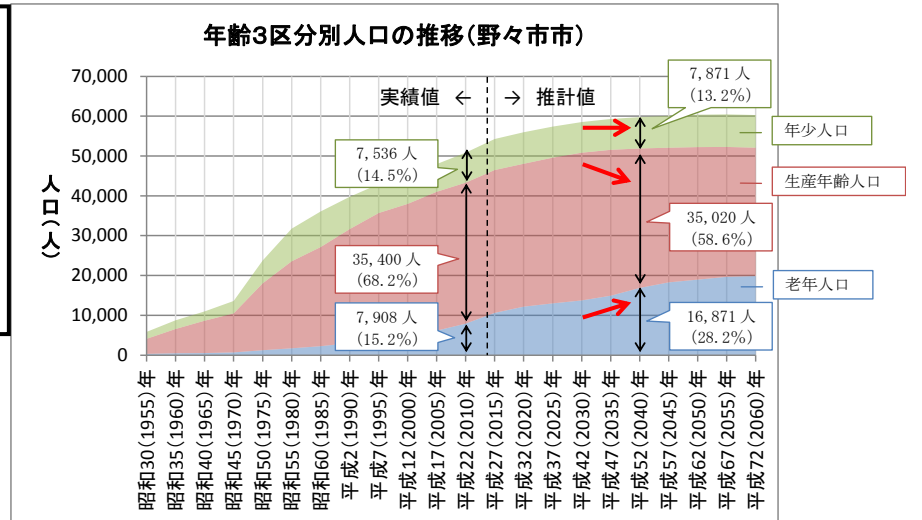
対象期間

国の長期ビジョンの期間を踏まえ、平成 72（2060）年とする。

●人口の現状と将来人口の推計
国立社会保障・人口問題研究所の推計では、平成 52（2040）年に減少に転じ、日本創成会議の推計では、平成 47（2035）年に減少に転じる。

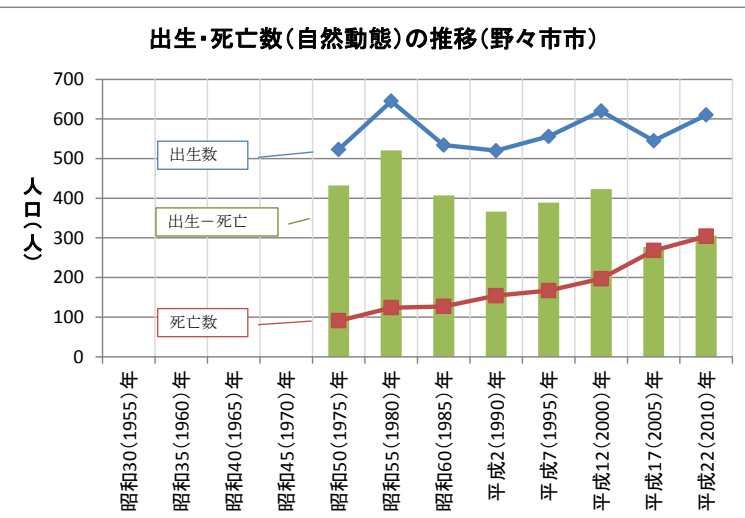


●年齢3区分別人口の推移
少子高齢化が進行し、老年人口は平成 52（2040）年には現在の約 2 倍となる。

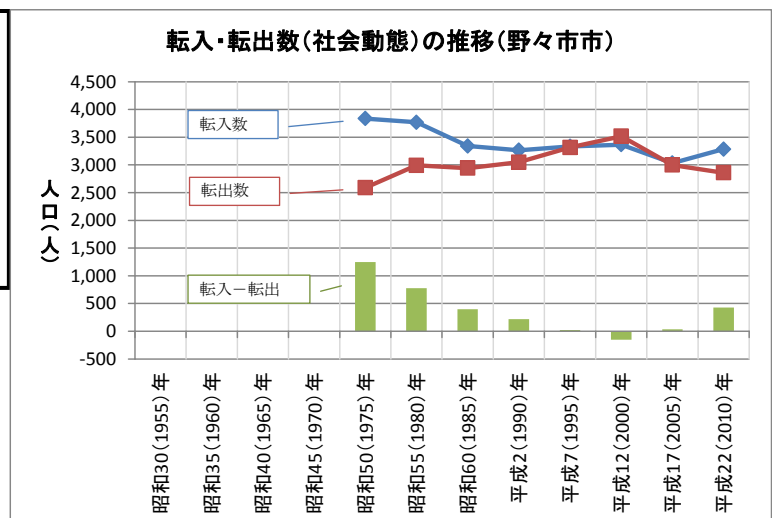


※野々市市独自推計（パターン1）

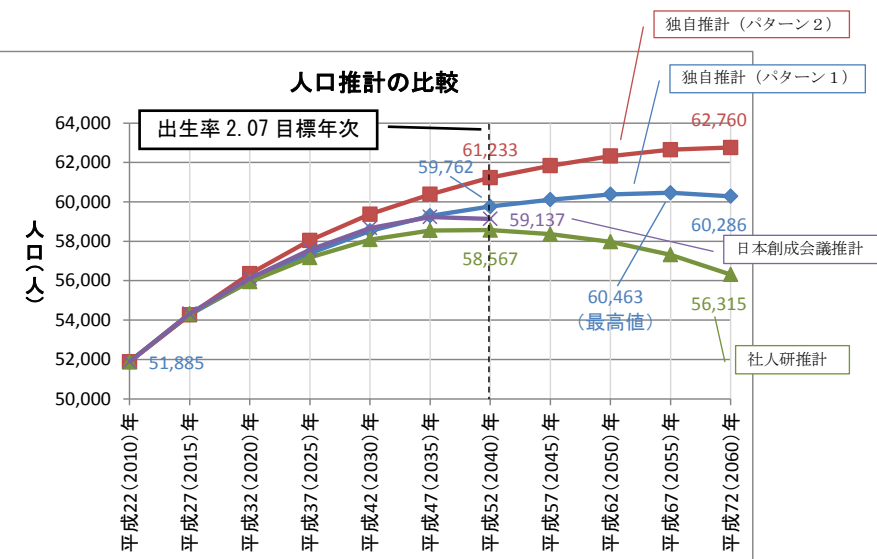
●出生・死亡数（自然動態）の推移
出生数が死亡数を上回る状態が続いているが、増加幅は減少傾向にある。



●転入・転出数（社会動態）の推移
社会増減数は減少傾向にあったが、近年は増加傾向にある。



●人口推計の比較
合計特殊出生率を 2.07 程度まで上昇させることができれば、人口は増加を続け、将来的には 6 万人程度の人口を維持することができる。



●年齢階級別人口
男性の大学卒業時の年代、30歳代、乳幼児の年代の転出が多い傾向にある。

